

若葉地区雨水枝線工事に関する意見に対する市の考え方

○意見募集期間：令和7年1月18日(土)～令和7年2月6日(木)

○結 果：提出者3名 提出された意見3件

No.	意見の概要	市の考え方
1	国土強靱化とよく言われますが、地球温暖化が進んでいく中、災害に強い国、延岡にしていきたい。そのためにはスピードを上げてインフラ整備をしていただきたい。日本には四季が無くなり夏、冬だけになるように言われはじめています。地震、台風等今までに無いようなものが来るようになると思われます。市の財政も大変だとは思いますが、これらの整備等予算を増やしていくべきだと思います。災害に強い延岡にしていってください。よろしくお願いいたします。	昨今の異常気象につきましては、予測できないようなことが起こる状況となっております。 災害に強いまちづくりの一環として、下水道施設の適正管理を図り、必要に応じて管路の整備や更新を実施してまいります。
2	当該若葉地区には、利便性等、住環境は市内でも良好な地域だと思いますし設備の経年劣化は当然発生します。最近の自然災害発生時による被害は予測できないものばかりですので住環境保全面からも時期を失することのなきよう市政に期待しております。	市としては、年次的に管路調査を実施し、調査結果を基に改修や補修を計画的に行っているところです。 今後も、下水道施設の適正管理を図ると共に計画的な管路の更新を行い住環境の保全や災害時の被害軽減に向けて取組んで参ります。
3	まず、経年劣化がどれくらい経つと問題になるのか把握し、こんなに酷くなる前に対処できなかったのでしょうか。住民が不安にならないような仕組みを検討していただきたい。 素人目に配管はできるだけ真っすぐした方が良いと思う。新設は曲がりが多く劣化が早くなりそうです。次回、次々回の交換時の事を考えて今後の対応を行ってほしい。	市としては、年次的に管路調査を実施し、調査結果を基に改修や補修を計画的に行っているところですが、今回のように都市計画法が施行される前に民間の開発業者が整備し市に移管していなかったために、把握できていない管路等が存在することもありますので、地元の声等も参考にしながら積極的な調査を進めて参ります。 整備する管路の配管ルートにつきましては、周辺の宅地や道路状況、今後の維持管理まで考慮し計画しておりますのでご理解をお願いいたします。 今後の整備方針等の説明内容につきましては、頂いた意見を参考に市民の皆様の不安を解消できるよう努めて参りたいと考えております。